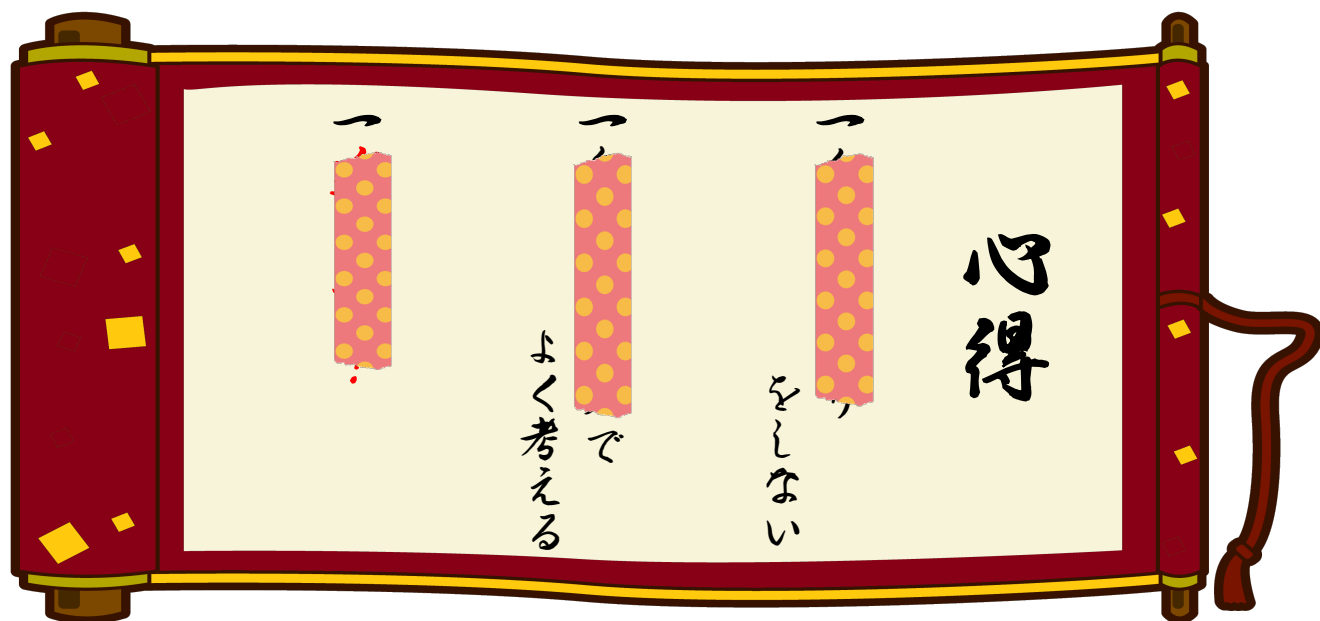


第122回理学部コロキウム

バナッハ環のスペクトルと保存問題の研究

理学部 数学プログラム 大井志穂



日時：5月25日（水）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）

場所：理学部B棟303講義室

解析学と言ったらどんなことを思い浮かべますか？もちろん、「微分積分学」のみを指すわけではありません。数学において無限算法を取り扱う分野です。無限次元線形空間の間の線形作用素を考えたりします。初めて聞いた方は、「なんのこっちゃ！」と思うかもしれませんが、そう思っていたければ十分です。

1929年にvon Neumannがヒルベルト空間上の有界線形作用素の環について論じ、その後バナッハ環の一般論の研究も始まりました。私の研究成果の一つに、バナッハ環のスペクトルに関する定理があります。

今回は、そんな私のバナッハ環のスペクトルに関する研究の話題を通して、私が数学を研究する際の心得（大切にしたいこと・目指していること）を分野外の方や学部学生向けにお話しします。数学の世界に広がる、人情豊かな素敵な風景をご紹介しますと思います。

問い合わせ先：井筒ゆみ (izutsu@gs.niigata-u.ac.jp)